

REPORT

〈ジオ〉の商品企画プロジェクトでは、
当社の分譲マンション〈ジオ〉ご入居者様や従業員等を対象に、
定期的にアンケート調査やモニター会を実施しております。

今回は、2020年6月から7月にかけて実施をした
コロナ禍におけるお住まいに対する考え方の変化や、
在宅ワークに関するアンケート調査について、ご紹介します。

在宅勤務のお困りごと

在宅勤務者の6割弱に困りごとあり

Q 在宅勤務において、通信環境やスペースの確保で困ったことはありますか？

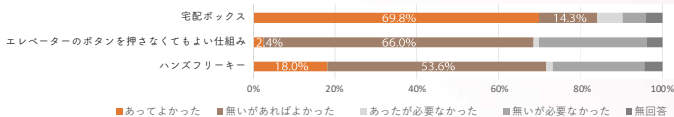
Wi-fiの契約をしていなかった	3.7%
Wi-fiの通信速度が遅い	26.9%
パソコンや携帯の充電用コンセントが不足した	8.8%
家族と離れて、WEB会議をする場所がない	17.6%
家族と離れて、オンライン学習をする場所がない	2.7%
複数人が在宅勤務・在宅学習をしたため、それぞれが専用のスペースを確保できない	13.2%
以前から在宅勤務をしており、変化や困ったことはない	3.9%
コロナ禍をきっかけに在宅勤務・在宅学習を行ったが、困ったことはない	38.9%

回答者数=409名（調査対象者のうち、コロナ禍以前・コロナ禍をきっかけに在宅勤務を行っている方）

「子どもたちのオンライン授業と自身の在宅勤務を併用したときネットが不安定になった」
「家族が同時にテレビ会議をしていたタイミングは、通信がとぎれとぎれだった」など、
ご家族が同時にWi-fiを使うことで、『インターネット通信速度』に
満足度が低いということが明らかとなりました。

共用部にあってよかった・あれば良かったと思った設備やサービス

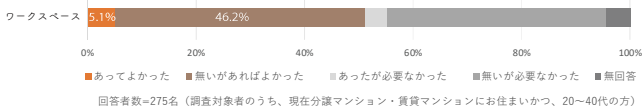
Q 共用部にあってよかった・あれば良かったと思う設備やサービスを教えてください。



回答者数=377名（調査対象者のうち、現在分譲マンション・賃貸マンションにお住まいの方）

「宅配ボックス」は、設置があってよかった・設置はなかったがあればよかったと
回答された方が、8割を超え、ニーズの高さがうかがえます。

また、現在のお住まいでの設置率は低いものの、鍵とエレベーターの非接触を求めている
方が、半数以上おられることがわかりました。



回答者数=275名（調査対象者のうち、現在分譲マンション・賃貸マンションにお住まいかつ、20～40代の方）



さらに、20～40代の方をみると、
「ワークスペース」は、無いがあればよかったと
4割半強の方が回答されており、
仕事に集中できる環境への強いニーズや共用設備への
期待感がうかがえます。

【調査概要】

インターネットおよび郵送による調査

調査手法：インターネット調査期間 2020年6月8日～2020年6月22日、2020年7月16日～2020年7月21日

郵送調査期間 2020年6月13日～2020年6月22日、2020年7月9日～2020年7月19日

調査協力先：株式会社アイ・キューブ

調査対象者：20歳以上

首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県、千葉県）

関西圏（大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県）、その他（愛知県等）

回答サンプル数：当社従業員：283名

生活者：206名（当社住まいのモニター会員、商品企画プロジェクト会員、阪急阪神オーナーズクラブ会員）

「ジオ新町レジデンス」に、当社初のニューノーマル対応施策を導入
～ 全戸玄関前宅配ボックスを設置するほか、共用ワークスペースを確保します～